

会社説明資料



OAT アグリオ株式会社

証券コード：4979

- 1. 会社概要**
- 2. OATグループのアグリテクノロジー**
- 3. 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦**
- 4. 2020年12月期第3四半期決算概要**
- 5. 配当関連**

1. 会社概要

2. OATグループのアグリテクノロジー

3. 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦

4. 2020年12月期第3四半期決算概要

5. 配当関連

◆OATアグリオグループ



親会社名	OATアグリオ株式会社
事業内容	農薬、肥料・バイオスティミュラントの研究開発、製造および販売
本社所在地	東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング8F
設立年月日	2010年9月28日
資本金	4億6,190万円
決算期	12月
代表者	代表取締役社長 岡 尚
従業員数	668名
(女性従業員)	181名 (27.1%)
(外国人数)	403名 (60.3%)
(研究開発人員)	116名 (17.4%)
研究開発費率	売上高の約10%

◆沿革

- 2010年 ◆大塚化学(株)のアグリテクノ事業部がMBOにより、大塚アグリテクノ(株)設立
- 2011年 ◆「アトニック」を主力製品とする旭化学工業(株)を買収
- 東日本大震災発生 ◆バイエル社から水稻除草剤原体2剤買収
- 2013年 ◆殺菌剤「ガッテン乳剤」発売
◆インドに現地農薬会社IIL社と合併研究所を設立
◆パキスタンに販売会社を設立
- 2014年 ◆OATアグリオ(株)に社名変更
◆東京証券取引所市場第二部上場
◆短期暴露評価制度による影響
- 2015年 ◆東京証券取引所市場第一部上場
- 2016年 ◆インドネシアにて合併会社設立
◆中国にて肥料合併会社設立
◆BASFからシクロスルファミロン6製剤を買収
◆MBOファンドからのEXIT
◆OATアグリフロンティア(株)設立
◆日本ジェネリック農薬協議会発足
- 2017年 ◆OATアグリオ公募価格2,100円超え
◆ISO9001取得
◆短期暴露から3年目にして国内業績回復 (売上・利益過去最高 増配6円)
- 2018年 ◆1月 日本バイオスティミュラント協議会設立
◆6月 スペイン LIDA社 CAPA社買収
◆11月 インブランタイノベーションズ
◆12月 クリザール関連20社の買収
- 2019年 ◆フルチアニルEU登録取得
◆GLOBAL GAP取得

◆企業理念と3つのアグリテクノロジー

ESG（環境、社会、ガバナンス）経営、SDGs（持続可能な開発目標）への積極的な取り組み



『企業理念』

食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します。

◆OATアグリオの主要製品群



グリーン農薬

食品、食品添加剤及び植物由来成分から開発された農薬



化学合成農薬



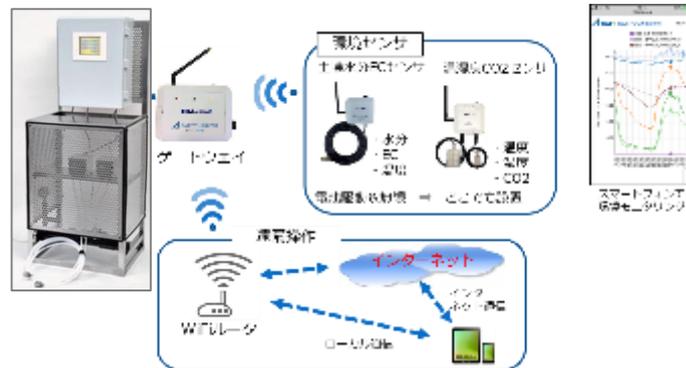
BS

全世界に展開している抵抗性誘導剤



肥料製品

日本国内において養液栽培用肥料のトップメーカー（シェア50%）。
ユニークな葉面散布剤、機能性肥料を開発、販売。



栽培システム関連

日本国内に約3000台の設置実績があり
近年は海外展開も加速。

◆OATアグリオグループ

LIDA Plant Research S. L.



OAT&IIL India Laboratories



PT.OAT MITOKU AGRIO



クリザール社



OATアグリオ



潤禾（舟山）植物科技有限公司



Asahi Chemical Europe



旭化学工業(株)



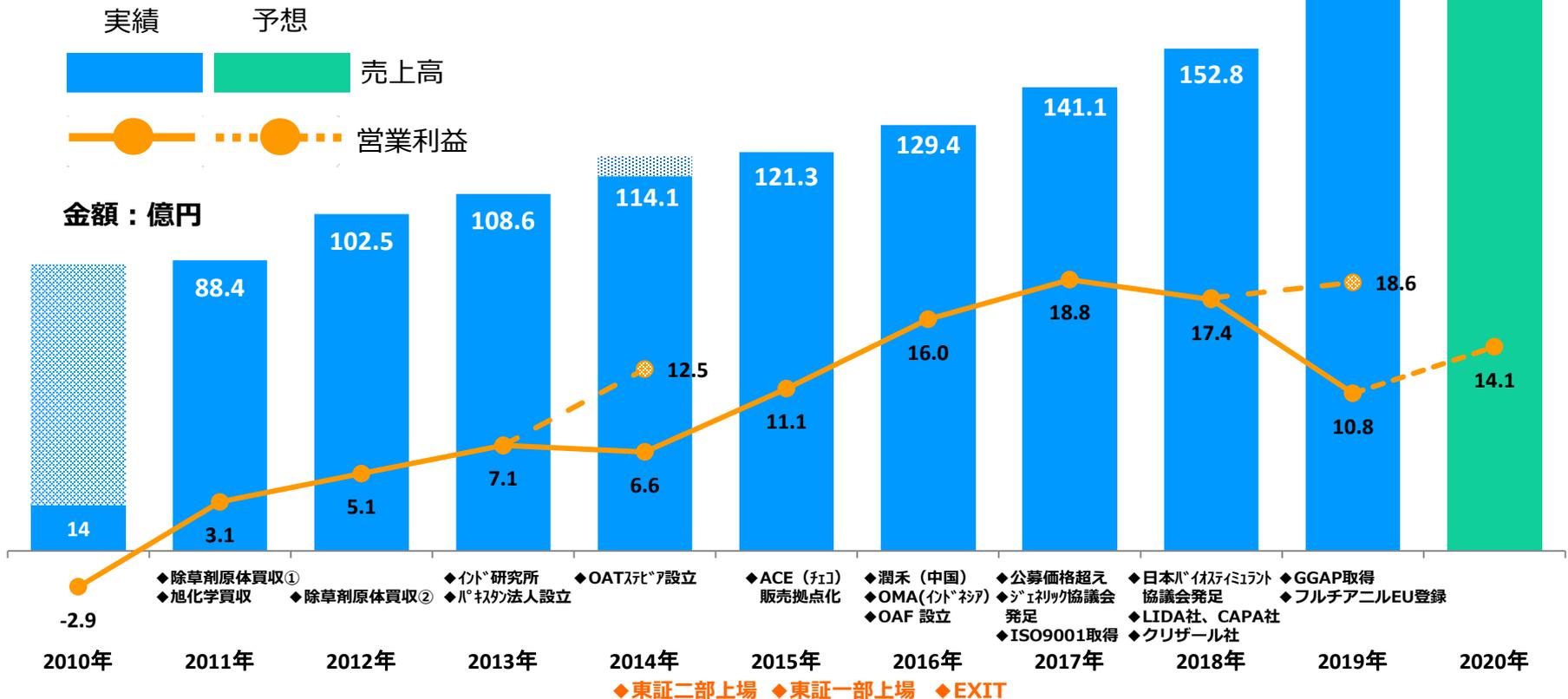
インプラントイノベーションズ



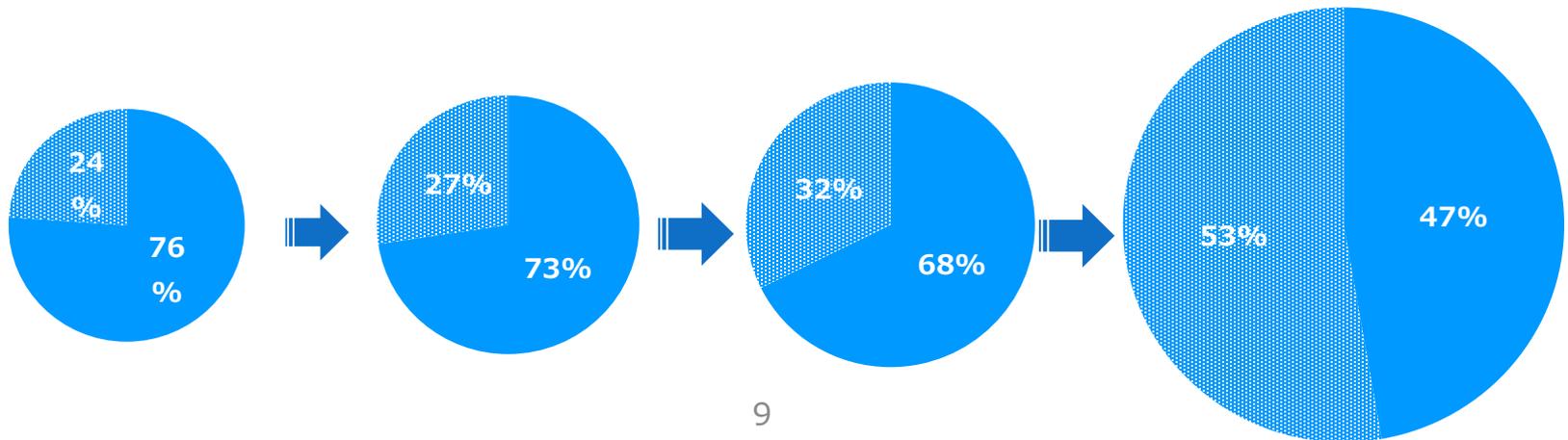
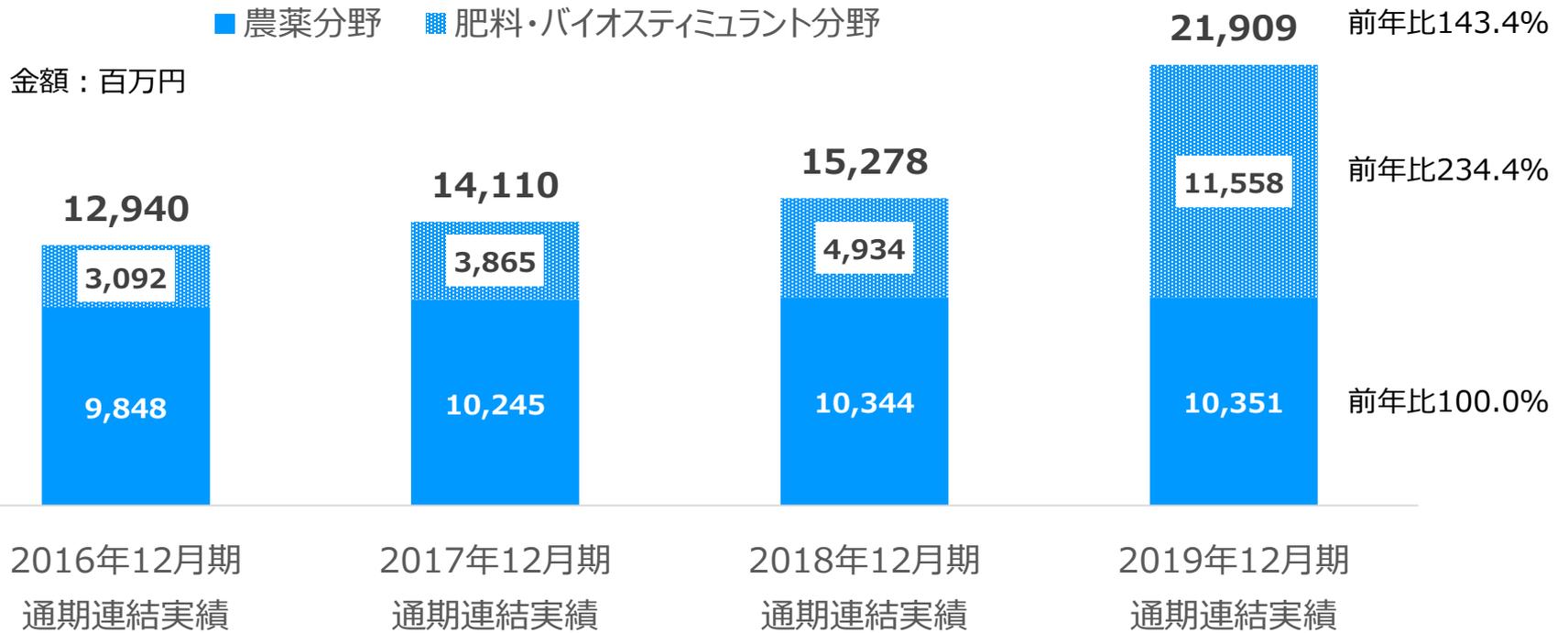
◆売上高・営業利益推移予想

- (+) 関係各社の売上増により、OATアグリロントニア解散による売上減を抑制
- (+) 棚卸資産評価額増など、買収に伴う一過性費用の解消
- (-) 研究開発費の増大

⇒ 営業利益+3.5億円増の予想

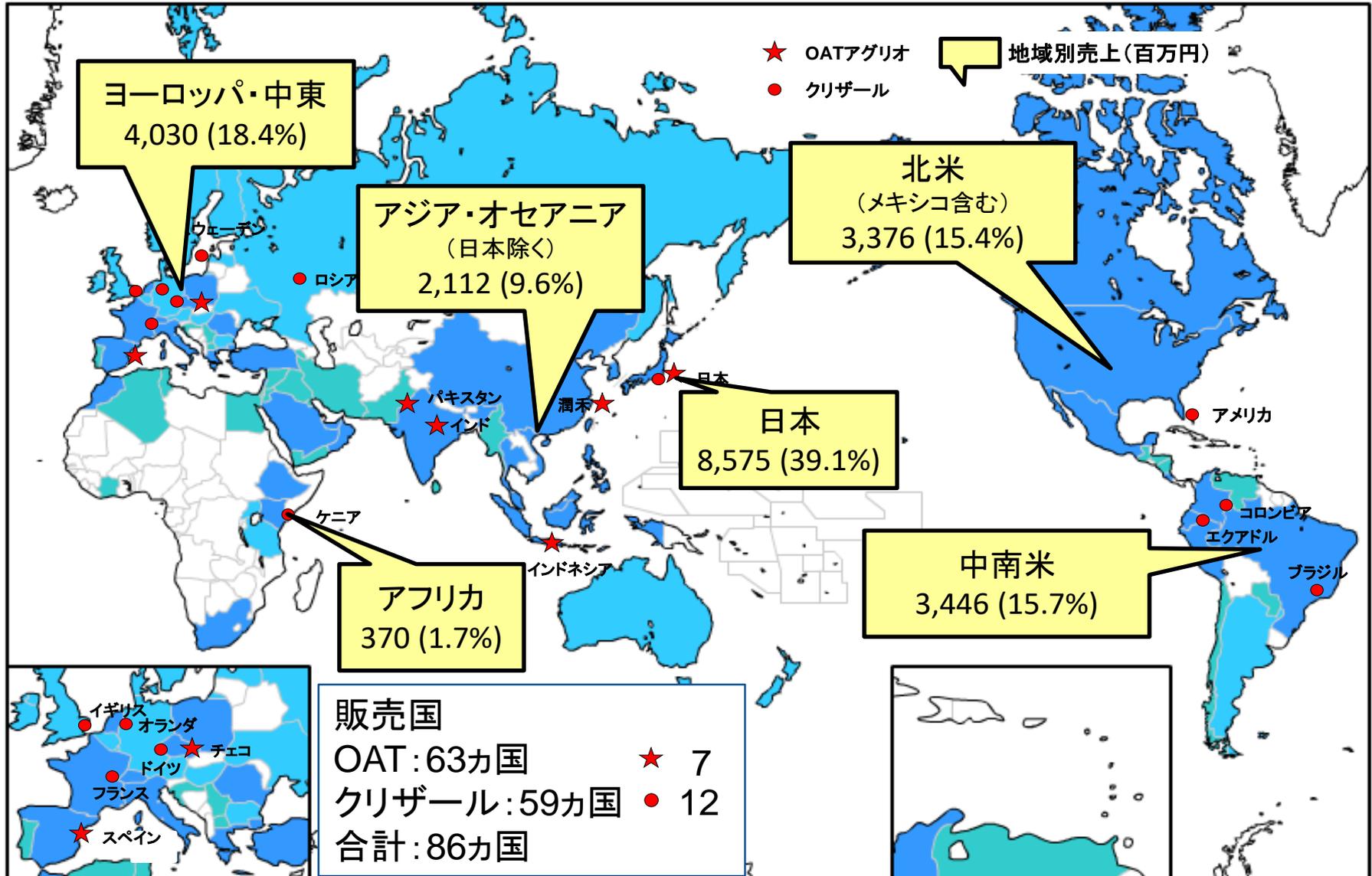


◆ 農薬分野と肥料・バイオスティミュラント分野



◆ 海外市場への取り組み状況

2019年度エリア別販売実績



1. 会社概要
2. **OATグループのアグリテクノロジー**
3. 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦
4. 2020年12月期第3四半期決算概要
5. 配当関連

◆アグリテクノロジーを極める

食糧増産が必須

エネルギーの
大量消費

自然破壊

農薬使用による
薬剤耐性の発生



地球温暖化
局所的な気候変動

砂漠化・塩害・水質汚染
世界の土壌の3割が劣化

新規開発を行っている
農薬メーカーは約千社
の中で日欧米の20数社

作物へのストレス
増大

国連が2015年を
国際土壌年とする

新規薬剤開発
防除技術

作物の免疫力の向上
バイオスティミュラント

必要最小限の水と肥料
施肥灌水技術

◆企業理念と3つのアグリテクノロジー

ESG（環境、社会、ガバナンス）経営、SDGs（持続可能な開発目標）への積極的な取り組み



『企業理念』
食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します。

➤ OATのグリーン農薬製品の定義

農薬の登録を有する天然・食品添加物由来または有機JAS適合農薬に順ずる使用回数に制限のない安心安全な環境にも優しい防除資材

➤ グリーン農薬が求められる理由

- 天然・食品添加剤由来の安心安全な防除資材のため
- 使用回数に制限がなく、安心して使用できる防除資材のため
- 薬剤抵抗性が病害虫に付きにくい防除資材のため
- 天敵にやさしくIPMに、適合する防除資材の為

◆OATのグリーン農薬製品ラインナップ



No.	製品名	有効成分	有機JAS適合 有無	使用回数
1	カリグリーン	炭酸水素カリウム	有機JAS適合	制限なし
2	トモノール	マシン油95%	有機JAS適合	制限なし
3	トモノールS	マシン油97%	有機JAS適合	制限なし
4	オレート液剤	オレイン酸ナトリウム		制限なし
5	アカリタッチ乳剤	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル		制限なし
6	サフオイル乳剤	調合油	有機JAS適合	制限なし
7	スラゴ	リン酸第二鉄	有機JAS適合	制限なし
8	スクミンベイト3	リン酸第二鉄	有機JAS適合	制限なし
9	トアローCT水和剤	BT菌産出毒素	有機JAS適合	制限なし
10	トアローフロアブル	BT菌産出毒素	有機JAS適合	制限なし
11	イオウフロアブル	硫黄	有機JAS適合	制限なし
12	ポテガード	塩基性塩化銅		制限なし



➤ OATのバイオスティミュラント製品の定義

バイオスティミュラントは植物が本来持つ免疫力を高め、耐寒性・耐暑性・病害虫耐性及び成長を促す物質や技術

➤ バイオスティミュラント製品が求められる理由

- 免疫力向上で収量増、品質向上
- 植物のストレス耐性の増強
- 果実の糖度、色、結実の品質の向上
- 植物体内の水バランスを調整、改善
- 栽培土壌の物理性改善

◆ バイオスティミュラントの効果

BSが有効な状況

- 干害
- 高温障害
- 塩害
- 冷害
- 霜害
- 酸化ストレス
- 農薬による薬害
- 物理的障害（雹や風）

BSを処理

植物に及ぼす効果

- 活性酸素の除去
- 光合成の活性化
- 開花、着果の促進
- 蒸散のコントロール
- 浸透圧の調整
- 根圏環境の改善
- 根量増加
- 根の活性向上

得られる結果

- 高品質化
- 収量増加

ただし、過酷な環境では十分な効果を実感できないこともありますのでご注意ください！

◆OATのバイオスティミュラント製品



No.	製品名	有効成分	期待される効果	使用回数
1	リダバイタル	甜菜糖密・アミノ酸	光・温度のストレス軽減	制限なし
2	アルガミックス	海藻・糖	乾燥・塩害のストレス軽減 着果向上	制限なし
3	フルボディ	腐植物質（フルボ酸/フミン酸）・海藻	地下部育成・促進 土壌改良	制限なし
4	ポテトール	ステビオシド	気孔の開口をコントロール	制限なし
5	鉄カトレプラス	亜リン酸・トレハロース・鉄	土壌中からの鉄分吸収を促進	制限なし
6	サンピ neo	有機酸・糖	気候ストレスを軽減・栄養分	制限なし
7	ATONIK	ニトロフェノール	非生物的・生物的なストレスからの軽減	



◆バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布によるダイズの発育比較 (除草剤による影響の軽減) (ハンガリー)

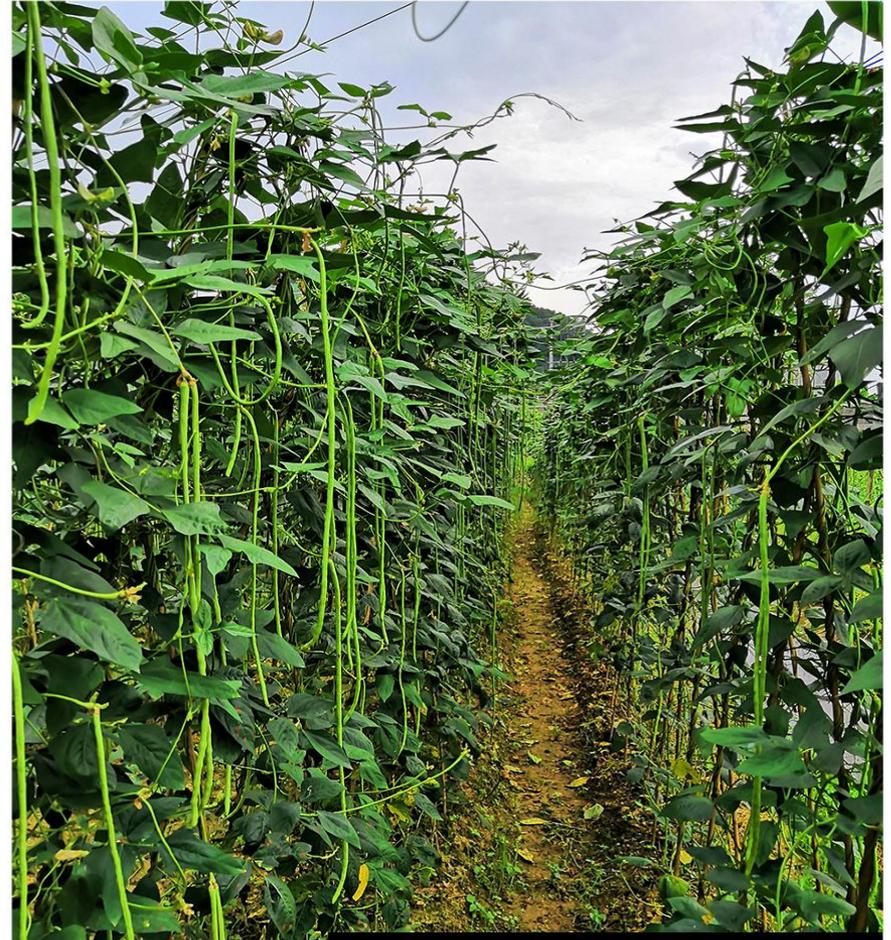


◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布による豆の発育比較 (暑さによる影響の軽減) (中国)



未使用



ATONIK使用

◆バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布により雹 (ひょう) 害を受けたダイズが回復 (スロバキア)



雹 (ひょう) 害を受けた直後のダイズ



ATONIK散布後のダイズ

◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布によるトマトの発育比較 (中国)



未使用

ATONIK使用

◆ バイオスティミュラント (リダバイタル)

リダバイタル散布によるイチゴの発育比較 (日本)



未使用



リダバイタル使用

◆バイオスティミュラント（リダバイタル）

リダバイタル散布によるお茶の発育比較（日本）



未使用



リダバイタル使用

◆ 栽培技術と防除技術のパッケージ提案

当社栽培研究センターにおいていちご実証栽培を実施

当社の資材（肥料、農薬およびBS）と栽培技術を用いて、徳島でいちごを栽培しています。生産物は「**ほほえみいちご®**」のブランドで販売しており、市場の評価も受けています。また、この実証圃場は「**GLOBALG.A.P. (グローバルギャップ)**」の認証を取得しています。

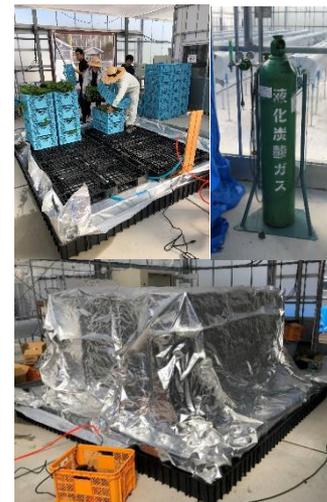
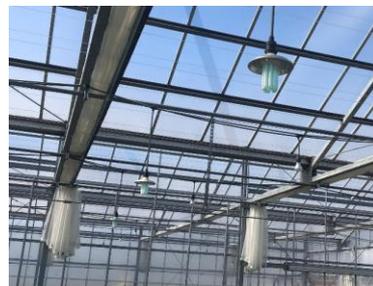


安心安全・高収量の追求

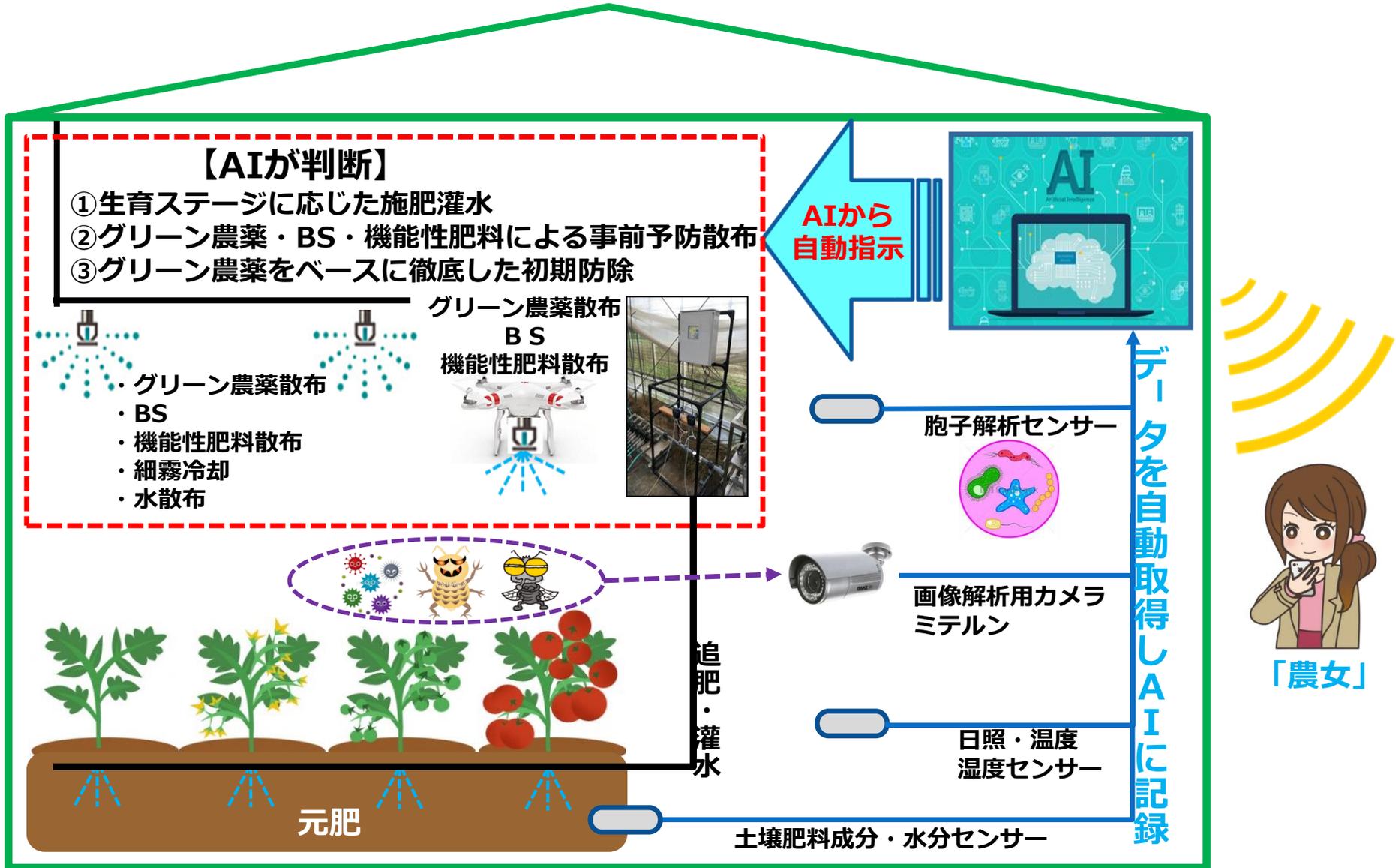
● 化学合成農薬を極力使用しない栽培を採用

2019-2020年の栽培で、化学合成農薬の使用回数を15回（本圃5回、育苗10回）に抑えて栽培をすることができました。ちなみに徳島県の慣行の防除回数は54回と設定されています。この**減農薬栽培**を実現するために、**グリーン農薬の使用**、高濃度CO2処理後定植やUV-Bランプなどの最新栽培技術を導入しています。

また、収量は「**さちのか**」という品種で**6.1トン/10a**を実現しました。ちなみに徳島県の「さちのか」の平均収量は3トン/10aとされています。



◆スマート農業（施設園芸）への対応



◆スマート農業（施設園芸）への対応

●栽培の自動化・省力化

①定点カメラを利用した生育の自動診断技術の開発



生育状況などを自動測定
→液肥混入機連動やアドバイス情報提供

②農薬・葉面散布の自動散布技術の開発



自走式静電散布装置の共同開発

1. 会社概要
2. OATグループのアグリテクノロジー
- 3. 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦**
4. 2020年12月期第3四半期決算概要
5. 配当関連

『企業理念』

食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します。

『理念の実現』

栽培を通して世の中に広く
アグリテクノロジーを普及させる会社を目指す。

『企業文化』

栽培の楽しさ・難しさを自ら体験
世界に発信する。

◆ 企業文化の構築

◆ 企業文化として「栽培の楽しさを世界に発信」し始めました。

oat_agriculture [フォロー](#) する

投稿59件 フォロワー85人 フォロワー中13人

OATアグリオ株式会社
 「食糧生産技術と真心で世界の人々に貢献します」を経営理念として、農薬・肥料・バイオスフィエコント製品の開発・販売を行っています。生産者向けだけでなく、新応用にはガーデンホスピタルの展開をしており、色々な作物を育てながら「栽培の楽しさ！」を発信したいです。 #家庭菜園 #ガーデニング #おうち時間
www.oat-agric.co.jp

Instagram

facebook

OATアグリオ株式会社
 @oat_agric

ホーム
 投稿
 レビュー
 写真
 コミュニティ
 基本データ

[ページを作成](#)

いいね! コメント シェアする

OATアグリオ株式会社
 11月17日 19:35

<ラディッシュ 播種32~35日目>
 ついにラディッシュを収穫しました！プランターが小さかったせいか、形が若干いびつなものもありますが、美味しそうにできました！！色にも種類があつて楽しいですね～
 また、採れたてのラディッシュを使ってカルパッチョも作ってみました！
 ...もっと見る

◆ 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦

- OATアグリオは新たなD2Cビジネスに挑戦します。

コロナ禍において、家庭での滞在時間が増えた消費者の皆さんに対して、

社員が自ら栽培に取り組むことで、家庭園芸や家庭菜園の楽しさを発信します。

家庭で手軽に楽しく野菜や花が栽培できることや、育てる楽しさ、収穫の楽しさ、食べる楽しさをお伝えしたいと考えます。

より簡単に楽しく栽培できるノウハウを、ツイッターやインスタグラム、フェイスブックなどのSNSを通して発信するとともに、弊社ECサイトにて栽培に必要な資材を販売致します。

ワンストップで必要な資材を揃えることができ、SNSやWebサイト上で栽培のやり方をお伝えすることで、双方向のやり取りをしながら、新たなビジネスモデルに挑戦します。

●D2C（Direct to Consumer）ビジネスへの参入

メーカーが直接消費者と販売取引を行うビジネスモデルを指します。

- メリット1：ビジョンや文化、栽培の楽しさを直接ユーザーに伝えられる
- メリット2：一人ひとりのユーザーの声を聞ける
- メリット3：市場のニーズにあった製品を開発できる
- メリット4：ブランドロイヤルティを向上できる

これまでの既存ビジネスは、卸や小売、JAなどの流通を通して、主にプロの生産者に販売していました。

今回は新規ビジネスとして、ターゲットを家庭園芸を楽しむ個人とし、ご家庭においてもっと手軽に栽培のできることを発信し、実際に栽培を体験して頂き、その悩みや課題にもお応えすることで、ユーザーとのつながりをより強固なものにします。

◆ 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦

● コロナ禍での企業理念と企業文化の融合

『企業理念』

アグリテクノロジーと真心

既存ビジネス

既存流通

増収
安定生産
品質改善



プロの生産者

農業就業人口：168.1万人
平均：67歳

『企業理念』 + 『企業文化』

アグリテクノロジーと真心
栽培の楽しさを発信

新規D2Cビジネス

育てる楽しさ
収穫の楽しさ
美味しい楽しさ
綺麗な楽しさ



消費者

農園・市民農園：360万人

◆ 企業文化の構築（栽培カレンダー）

科	作物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
アオイ	おくら					播種	定植		収穫					
アジサイ	アジサイ	定植				開花期								
アブラナ	コマツナ	播種		収穫										
	ストック		定植			開花期								
	チンゲンサイ		播種		収穫									
	結球レタス								播種	定植			収穫	
	セレタス								播種	定植			収穫	
	ブロッコリー			播種	定植		収穫							
イネ	スイートコーン				播種	定植		収穫						
ウリ	きゅうり				定植		収穫							
	ゴーヤ					定植		収穫						
キキョウ	カンパニユラ		定植			開花期								
キク	キンセンカ	定植				開花期								
シソ	しそ				播種	定植		収穫						
スマレ	パンジー、ビオラ									定植	開花期			
ツツジ	クランベリー		定植				収穫							
ナス	じゃがいも		定植				収穫							
	パプリカ				定植			収穫						
	ミディトマト				定植			収穫						
バラ	いちご（四季成）			定植				収穫						
ヒガンバナ	葉ねぎ			播種		収穫								
ヒユ	ほうれん草		播種		収穫					播種	収穫			
マメ	枝豆					播種	定植			収穫				
					播種	定植		収穫						

◆ 企業文化の構築（栽培の楽しさを発信）

【いちごの栽培】



◆ 企業文化の構築（栽培の楽しさを発信）

【ミニトマトの栽培】



◆ 企業文化の構築（栽培の楽しさを発信）

【ピーマンの栽培】



【さやえんどうの栽培】



◆ 企業文化の構築（栽培の楽しさを発信）

【チンゲン菜の栽培】



1. 会社概要
2. OATグループのアグリテクノロジー
3. 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦
- 4. 2020年12月期第3四半期決算概要**
5. 配当関連

◆2020年12月期第3四半期連結業績



2020年12月期第3四半期連結業績

金額：百万円

科目	2019年12月期 第3四半期 連結業績	2020年12月期 第3四半期 連結業績	前年比	2020年12月期 連結業績予想	進捗率
売上高	16,999	15,476	91.0%	21,779	71.1%
営業利益	1,287	1,486	115.5%	1,405	105.8%
経常利益	1,038	1,334	128.5%	1,259	106.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	580	767	132.2%	613	125.1%

- ・国内農薬分野については、競合農薬メーカーの新規殺虫剤の影響を受けて売上高が減少
- ・海外農薬分野については、販売戦略の見直しに伴う販売価格の上昇の影響により、殺虫剤「オンコル」の販売が減少
- ・肥料・バイオスティミュラント分野については、新型コロナウイルス感染症の影響でオランダクリザール社の販売が減少

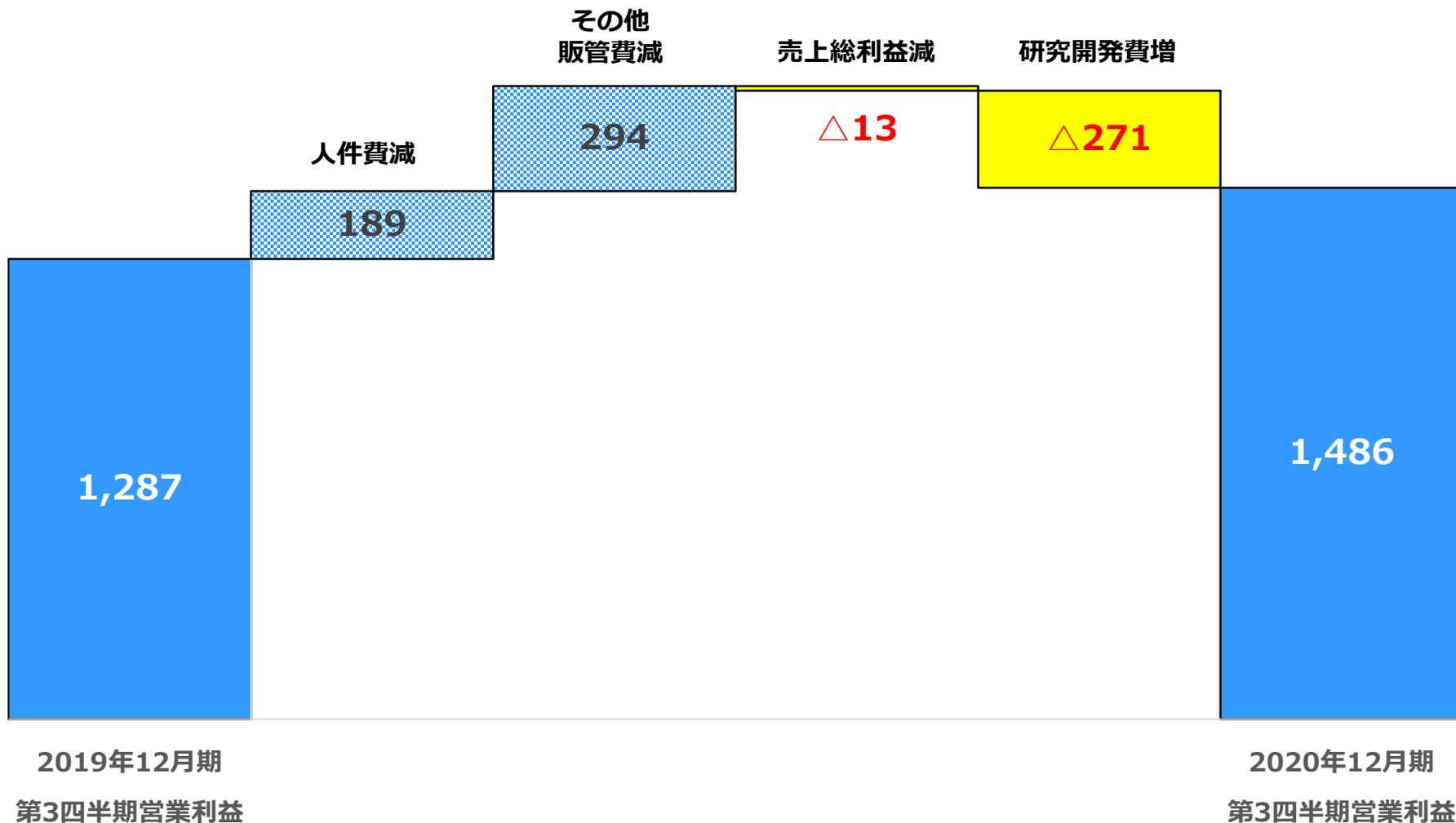
◆2020年12月期第3四半期連結営業利益増減分析（対前年）



プラス要因

 マイナス要因

金額：百万円

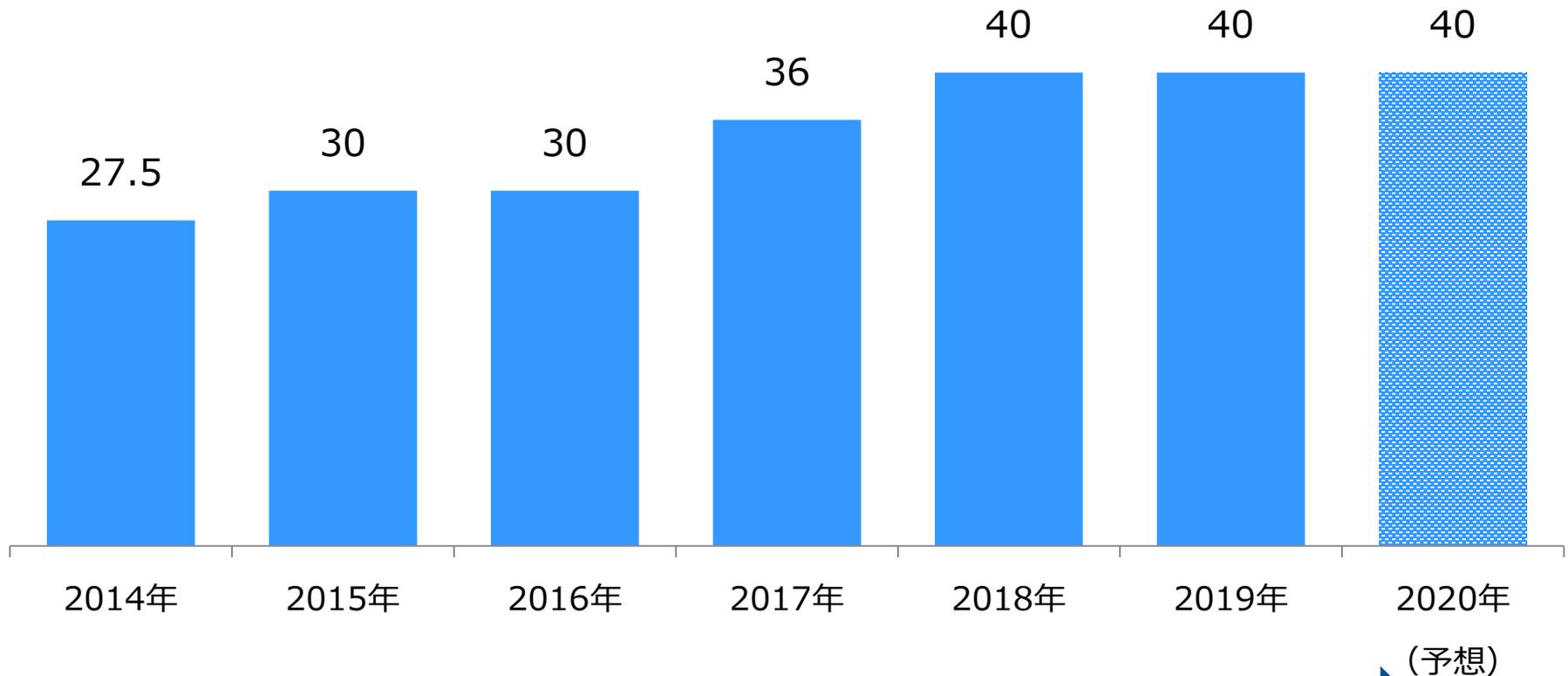


1. 会社概要
2. OATグループのアグリテクノロジー
3. 企業文化の構築と新規ビジネスへの挑戦
4. 2020年12月期第3四半期決算概要
- 5. 配当関連**

◆ 配当金の推移

※2015年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っており、
2014年12月期については当該株式分割後の配当金額を記載

単位：円／年



安定配当を継続

◆本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関する見通し、将来に関する計画などが記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

ご清聴ありがとうございました